

## 議案第 28 号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

別添のとおり行った教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を基本として、その結果に関する報告書を作成し、これを輪島市議会に提出するとともに公表することについて、承認を求める。

平成 28 年 8 月 26 日提出

輪島市教育委員会

教育長 吉 岡 邦 男

### 提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会は、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないため。

平成 28 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価について  
(対象年度 平成 27 年度)

輪島市教育委員会

# 目 次

## 事務の点検及び評価

### 庶務課主要施策

- 1 教育大綱・教育振興基本計画の策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 学校施設の整備と充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 学校の安全対策の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 学校の統廃合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 5 県立高等学校における特色ある学校づくり等支援・・・・・・・・・・ 3

### 学校教育課主要施策

- 1 確かな学力の育成と個性や創造力の伸長・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 人間性豊かで希望を持ってたくましく生きる児童・生徒の育成・・ 7
- 3 体育・食育の充実を推進し健やかな体の育成・・・・・・・・・・ 9
- 4 児童生徒の安全対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 5 開かれた学校と地域に信頼される学校づくり・・・・・・・・・・ 10
- 6 教職員研修の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

### 生涯学習課主要施策

- 1 市民ニーズに対応する生涯学習の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 地域の教育力を活用した生涯学習の推進・・・・・・・・・・ 17
- 3 地域に活力を与える生涯学習の推進・・・・・・・・・・ 17
- 4 スポーツを通じた活力ある人と地域の創造・・・・・・・・・・ 19
- 5 生涯学習環境の整備と充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

### 文化課主要施策

- 1 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 2 文化財の適切な保存・整備と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- 3 特色ある地域文化の継承と振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 4 伝統的な文化芸術の継承と創造活動の推進・・・・・・・・・・ 27
- 5 文化施設の整備と充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

## 庶務課主要施策

### 1 教育大綱・教育振興基本計画の策定

本市の「教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」及び「教育振興基本計画」の策定に向けた諸準備の推進

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆輪島市教育大綱策定等審議会委員報酬(252 千円)

・輪島市の将来を見据えた教育全般にわたる基本方針を盛り込んだ「輪島市教育大綱」及びこれに基づく「輪島市教育振興基本計画」の策定に当たって学識経験者等から意見を聴くため、輪島市教育大綱策定等審議会(輪島市総合教育会議の諮問機関)の会議を次のとおり開催した。

第1回：平成27年12月21日(月)

第2回：平成28年1月13日(水)

第3回：平成28年1月27日(水)

第4回：平成28年2月5日(金)

#### 評価

##### □ 輪島市教育大綱策定等審議会委員報酬

輪島市教育大綱策定等審議会の答申を受け、輪島市総合教育会議における協議を経て、「輪島市教育大綱」及び「輪島市教育振興基本計画」を平成28年2月に策定した。

### 2 学校施設の整備と充実

学校教育行政をより効果的に推進するため、その基盤となる学校校舎等の整備を中長期的な年次計画のもと実施するとともに、学校運営を円滑に行うことができるよう各学校施設の修繕等を行い、学びの場にふさわしい教育環境の更なる改善を図る。

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆学校校舎等営繕費(35,111 千円)

・市内全13小中学校校舎等の補修及び改修

小学校 266 件

このうち、1件の工事費が50万円以上のもの

大屋小学校正面玄関屋根防水改修工事(2,322千円)

町野小学校屋根等改修工事(1,750千円)

門前東小学校遊具設置工事(1,793千円)

町野小学校ランチルーム照明器具取替工事(594千円)

鳳至小学校特別支援教室設置工事(1,231千円)

町野小学校電気設備改修工事(1,058千円)

中学校 106件

このうち、1件の工事費が50万円以上のもの

東陽中学校外壁等塗装工事(2,954千円)

## 評価

### □ 学校校舎等営繕

「輪島市学校教育振興基本計画」に基づき、安全で快適な教育環境を確保するとともに、教育活動に支障をきたすことがないように、各小中学校からの要望、意見等を聴取しながら、学校施設設備の改修を行ってきており、学校運営の円滑な遂行につなげている。

なお、平成28年度から「輪島市教育大綱」及び「輪島市教育振興基本計画」に基づき、学校施設の整備を行っているところである。

## 3 学校の安全対策の実施

児童生徒が安心して学習できる環境を整えるため、次の施策を実施する。

- ・「輪島市学校教育振興基本計画」に基づいて学校施設の耐震強化の推進と設備、備品等の安全対策を講じる。

非構造部材耐震対策（河井小、鳳至小、鶴巣小、大屋小、河原田小、三井小、門前東小、門前西小、東陽中）

## 平成27年度の主な取組

### ◆非構造部材耐震対策(16,902千円)

河井、鳳至、鶴巣、大屋、河原田、三井、門前東、門前西、東陽の各小中学校の体育館における非構造部材の耐震補強を行った。

## 評価

### □ 非構造部材耐震対策

「輪島市学校教育振興基本計画」に基づき、既存施設の安全性を確保するため、上記各小中学校の体育館において非構造部材の耐震補強整備を行ったことにより、現在、新校舎等建設中の輪島中学校を除く市内全小中学校における非構造部材耐震補強を完了した。

## 4 学校の統廃合

輪島中学校新校舎等の建設着工に向けた諸準備の推進

- ・新校舎整備に係る実施設計の策定
- ・旧松陵中学校の解体、同校敷地の測量・地質調査

## 平成 27 年度の主な取組

### ◆輪島中学校建設事業費(283,866千円)

#### ・新校舎整備に係る実施設計の策定等(主なもの)

- [繰越明許]旧松陵中学校解体工事(1工区)(50,150千円)
- [繰越明許]旧松陵中学校解体工事(2工区)(15,995千円)
- [繰越明許]輪島中学校建設事業地質調査業務委託料(9,040千円)
- [繰越明許]輪島中学校建設事業敷地測量業務委託料(6,140千円)
- 輪島中学校建設事業造成等実施設計業務(8,262千円)
- 輪島中学校建設工事実施設計業務(74,498千円)
- 輪島中学校建設周辺建設調査業務(6,534千円)
- 輪島中学校建設事業環境影響調査業務(184千円)
- 輪島中学校建設工事(給水設備)(853千円)
- 輪島中学校建設関連工事(付帯施設解体)(11,880千円)
- 輪島中学校建設敷地造成工事(1工区)(48,300千円)
- 輪島中学校建設敷地造成工事(2工区)(39,400千円)

## 評価

### □ 輪島中学校建設事業

#### ・新校舎整備に係る実施設計の策定等

輪島中学校新校舎等の建設に係る実施設計を取りまとめる一方、建設場所である旧松陵中学校の校地における校舎等の解体、敷地測量及び地質調査を完了し、敷地造成工事に着手した。

なお、新校舎等の建設については、次の予定で進めていく予定としている。

- ・敷地造成：1工区 平成28年8月末完了  
2工区 平成28年10月末完了
- ・校舎・体育館(武道場を含む)：平成29年12月中完了
- ・テニスコート：平成28年8月末完了
- ・全天候型広場：平成29年12月中完了

## 5 県立高等学校における特色ある学校づくり等支援

市内の県立高等学校が実施する特色ある学校づくりを支援することにより、生徒が行う研究その他の学習活動等を通じ優秀な人材の育成を図る。

門前高等学校に在学する生徒の学校生活、ソフトボール部活動等を側面から支援する。

高等学校に就学している生徒で公共交通機関を利用し当該高等学校に通学している者の保護者を側面から支援する。

## 平成 27 年度の主な取組

### ◆県立高等学校活性化支援事業費(6,920千円)

県立高等学校の生徒等が行う研修、研究その他の学習活動を通じた「魅力ある学校づくり」に係る費用について補助金を交付する。

輪島高等学校(3,700千円)

- ・「総合的実践力」養成に向けた取組(対話プロジェクト)

- ・「ふるさと活性化プロジェクト」の取組
- ・教員の「授業力向上」に向けた取組
- ・「ふるさとに誇りを持ち地域に貢献できる人間の育成」に向けた取組
- ・「開かれた学校づくり」推進に向けた取組
- ・「心豊かで地域に貢献できる人材」育成に向けた取組
- ・「地域理解プログラム」の取組

#### 輪島高等学校定時制(220 千円)

- ・ものづくりを通して豊かな情操を養う事業
- ・自らの進路を主体的に切り拓く力を身につける(キャリア教育)事業
- ・ふるさとを知り、地域愛を育む事業
- ・定時制教育での学びに誇りを持ち自己肯定感を高める事業

#### 門前高等学校(3,000 千円)

- ・部活動活性化事業
- ・ボランティア活動活性化事業
- ・キャリア教育活性化事業
- ・資格取得応援事業
- ・予備校活用事業

#### ◆門前高等学校生徒支援事業費(1,080 千円)

門前高等学校在学生徒が同校に在学するために必要な下宿に係る費用について、補助金を交付する。

#### ◆高校生通学費補助事業費(1,641 千円)

高等学校に通学する輪島市内に住む生徒の保護者で、次の2つの要件を満たしている者に対し補助金を交付する。

- ①輪島市内に現に引き続き3年以上住んでいること。
- ②バスや鉄道の定期券を購入し通学する生徒の保護者であること。

## 評価

### □ 県立高等学校活性化支援事業

各学校においては、生徒の学習意欲を喚起させ、個々の優れた能力を一層伸ばすとともに、地域に貢献する優秀な人材の育成及び「魅力ある学校づくり」に寄与するための各種事業を展開している。

### □ 門前高等学校生徒支援事業

生徒の保護者が負担する下宿費の経費の軽減を図ってきている。

### □ 高校生通学費補助事業

公共交通機関であるバスを利用して生徒が高等学校へ通学するに当たり、遠距離のために交通費がかさむ保護者の負担軽減を図っている。

この事業については改正を行い、平成28年度から、「市内」の高等学校へ通学する生徒の保護者のみを補助対象者とする事となった。

## 学校教育課主要施策

### 1 確かな学力の育成と個性や創造力の伸長

○創意工夫と活力のある教育活動を展開し、基礎・基本の確実な定着と個性を伸ばすきめ細かな学校教育を行う。

①学習指導要領の趣旨や内容を確実に把握した上で、各種学力調査の結果を活用しながら各校の児童生徒の実態に応じた効果的な教育課程の編成と工夫に努める。

- ・いしかわ学びの指針 12 か条を踏まえた授業実践を推進
- ・各種学力テストの効果的な分析と指導方法の工夫と授業改善
- ・全国学力・学習状況調査結果について、保護者や地域住民に対する公表
- ・英数における小中連携を図り、9年間を見通した教育課程の編成と工夫
- ・学力向上プランの有効活用
- ・各種情報機器の有効活用による ICT 教育の充実
- ・輪島市指定学校研究の充実
- ・ケーブルテレビを活用した算数(数学)・外国語活動(英語)教育の充実
- ・わじまっ子テレビ塾を生かした取組の工夫
- ・中学生を対象とした英語検定の全員受検

②習熟度別学習や個に応じた指導方法、指導体制の工夫・改善に努め、基礎・基本の確実な定着に努める。

- ・習熟度別少人数授業の工夫
- ・各種学力向上推進補助事業の活用
- ・土曜授業の実施

③特別な支援を必要とする児童生徒が、その能力等を最大限に伸ばし、成長・発達していくための個々のニーズに応じた指導体制を構築する。

- ・特別支援教育コーディネーター研修会の実施
- ・特別支援教育支援員の研修会の実施

④読書による喜びや楽しさの体験を通じて、豊かな心や読解力を育む。

- ・全校における「朝読書」の推進・実践
- ・学校図書館司書補助員の有効活用と研修会の実施、市立図書館との連携の推進

⑤小学校における英語教育の推進により、中学校英語教育の充実を図る。

- ・小学校 6 年生の英語科に向けた教育計画の推進
- ・「Hi, friends!」や「英語ノート」の活用
- ・ALT を活用した効果的な指導の推進

⑥幼保・小・中・高の連携を密にし、きめ細かな指導に努める。

- ・幼保小中の情報交換会を実施し、小 1 プロブレム・中 1 ギャップの未然防止
- ・門前地区中高一貫教育の充実
- ・小中高が連携した 12 年間の教育

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆学力向上推進事業費(2,626 千円)

- ・市独自の学力検査
- ・全中学生を対象とした英検の受検(H25～)

##### ◆テレビ寺子屋事業費(1,961 千円)

・ケーブルテレビを活用して、児童生徒がつまずきやすい単元を教師がテレビを通して教える。また、保護者等にもその番組を視聴してもらうことで、教育への関心を高め、地域と学校とが



結びついた環境づくりを推進していく。

◆土曜授業推進事業費(1,082千円)

- ・小学校5、6年生及び中学生を対象とした土曜日の授業の実施
- ・外部講師等の活用による算数・数学、外国語活動・英語を中心とした発展的学習の授業や習熟度別授業の実施

◆教育支援員等費(特別支援教育支援員分：7,996千円)

- ・発達障害を抱える児童生徒や特別支援学級の児童生徒への学習支援のために、特別支援教育支援員を配置する。  
【配置体制】8人(河井小学校1人 鳳至小学校1人 大屋小学校2人 門前東小学校1人 輪島中学校2人 東陽中学校1人)

◆教育支援員等費(学校図書館司書等分：18,544千円)

- ・読書の推進、学校図書館の充実のための図書館司書及び司書補の賃金等  
【配置体制】7人(うち1校専務3人、2校兼務1人、3校兼務3人)

◆教育支援員等費(ALT分：13,106千円)

- ・英語教育の推進のためのALT3人の賃金等

◆中高一貫教育推進事業費(1,200千円)

- ・門前中学校と門前高等学校が教育課程の編成や交流を通して連携を深める。
- ・体験学習や福祉施設への慰問等、地域交流による教育も推進する。

**評価**

□ 学力向上推進事業

本市の学力調査については、平成23年度から、全国学力調査及び県基礎学力調査と同時期に、未実施の学年に対して補完的に実施する方法に改めた。翌24年度には、新たに小学1、2年生も対象とし、中学3年生を除くすべての学年について、それぞれの学年に応じた教科で、学力調査を実施した。平成26年度にあっても前年度同様の実施方法により、学習成果を把握し、また、経年的学力も把握しながら適切な指導に結びつけるよう努めることができた。

そのほかに、本市中学生が苦手とする英語の学力向上のため、基礎英語力の定着化に評価のある「英検」を全中学生に受検させ、市全体の英語力の底上げを図った。

□ テレビ寺子屋事業

児童生徒の学力向上や教師の授業力向上を目的として、平成24年度からケーブルテレビを活用して、算数、数学、英語、外国語活動のうち、つまずきやすい単元の番組を制作し、放映した。

今後は、番組の活用方法や視聴の感想等をより把握して教師へフィードバックし、よりよい授業、番組づくりに反映させていかなければならない。

制作番組数(算数8本、数学8本、英語4本、外国語活動4本)

□ 土曜授業推進事業

学力調査の結果などから対策が必要とされる算数、数学、外国語活動及び英語を重点的に指導するため、平常のカリキュラムでは対応の難しい個人の到達度や意欲に沿った習熟度別学習を実施することができた。

#### □ 教育支援員等配置(特別支援教育支援員)

普通学級に在籍する発達障害等を抱える児童生徒への個別支援や特別支援学級に在籍する児童生徒の補助を目的として、特別支援教育支援員を設置している。近年、個別指導や支援を必要とする児童生徒が全国的に増加傾向にあり、本市においても同様な傾向が見られる。そのような状況の中で、個のニーズに応じた教育を実施するためには、本事業は非常に重要であり効果をあげている。各学校から更なる増員が求められている。

#### □ 教育支援員等配置(学校図書館司書等)

小中学校に図書館司書及び司書補を巡回させ、読書活動の推進と各学校の図書整備を行っている。司書及び司書補は1人平均2校を兼務している。今後とも引き続いて司書等の活動内容の充実を図り、児童生徒の更なる読書活動の推進が必要である。

#### □ 教育支援員等配置(ALT)

平成22年度から1人増の3人の外国人講師で市内全校を担当している。小学校高学年での外国語活動は担任の指導となっているが、学習効果を上げるため、外国人講師のサポートは重要であり、今後とも3人体制により訪問回数維持を図るべきである。

このほか、保育所や幼稚園への訪問も行っている。

#### □ 中高一貫教育推進事業

連携型中高一貫教育として、教育課程の編成の工夫や教職員間の交流を中心に行っている。高校教諭による英語授業や体育授業(剣道指導)、昼学習、放課後補習を実施し、併せて教師間交流として教科学習指導講話、進路指導主事講話なども行った。しかしながら、一部慣例的に継続されている状況も見受けられることから、今後更に積極的に改善を行い、連携を進めていく必要がある。

## 2 人間性豊かで希望を持ってたくましく生きる児童生徒の育成

○学校・家庭・地域と連携を図りながら、心の教育と規範意識を高める教育を推進する。

①道徳の時間を中心としながら、教科活動全体を通じた道徳教育を推進する。

- ・体験活動や行事等と道徳の関連を図った、道徳の授業の推進
- ・個性の伸長と自己肯定感の醸成に努める。

②生徒指導の充実に努める。

- ・ストップ不登校の取組
- ・Q-Uテストといじめアンケート調査によるいじめを見逃さない学校づくり
- ・学校へのスクールカウンセラー、生徒指導サポーターや教育相談員の配置

③発達段階に応じた勤労観・職業観を育成するために、職業人講話や職場体験、感動体験を重視したキャリア教育を推進する。

- ・一人一人に応じた適切な進路指導計画による実践
- ・地域とともに育てる「わくワーク体験事業」の充実

④社会性や規範意識の育成に努める。

- ・社会のルールや判断に関する学習の推進
- ・PTA、学校、市教委の連携による合同会の開催

⑤小学校低学年からIT化に対応した情報モラル教育を進める。

- ・保護者への携帯所有についての「いしかわ子ども総合条例」の趣旨の周知徹底
- ・子どものネット利用について、学習機会を設けての危険性の周知徹底

⑥地域の特性や教育力を積極的に活用した教育活動を推進し、「特色ある学校づくり」を進める。

⑦輪島市小学生合唱大会を開催し、児童の情操教育に努める。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆Q-Uテストの実施 (167 千円)

- ・小中学校の児童生徒全員 1 回実施

#### ◆教育支援員等配置(生徒指導サポーター一分 : 5, 142 千円)

- ・輪島中学校において、生徒の環境変化による諸問題に対応するため、生徒指導サポーターを設置して巡回指導を実施した。

【配置体制】2 人

#### ◆地域と共に「わくワーク体験事業」費(366 千円)

- ・望ましい職業観と勤労観の育成及び自己を生かす態度や能力を育む。
- ・地域の様々な事業所で 3 日間の職場体験をする。  
受入事業所指導員謝金、消耗品及び保険料等

#### ◆ひまわり号による補導指導巡回費(40 千円)

- ・燃料費 27 千円
- ・夏季巡回補導指導員傷害保険料 13 千円

#### ◆社会科学習の充実のために「わたしたちのわじま」の発行費(770 千円)

- ・小学 3 年生を対象とした地域を理解するための社会科副読本を配付した。

#### ◆特色ある学校づくり支援事業費(1, 263 千円)

- ・学校長が作成する学校経営プランの実施に向けた活動費

#### ◆輪島市小学生合唱大会の開催(100 千円)

- ・「輪島市小学生合唱のつどい」を開催し、児童の情操教育の推進に努めた。

### 評価

#### □ Q-Uテストの実施

いじめは行動観察だけでなく、Q-U なども活用しながら児童生徒間の意識や関係を把握する必要がある。早期発見という観点からも年度当初の実施は効果的である。

市からの負担は初回テスト分のみだが、その後の子どもの変容を見ていく上で、年度途中の経費も検討する必要がある。

#### □ 教育支援員等配置(生徒指導サポーター)

3 中学校統合後の環境変化等による諸問題に対応するため、平成 25 年度から設置した生徒指導サポーターを輪島中学校に継続して設置し、保護者の不安解消に努めた。

#### □ 地域と共に「わくワーク体験事業」

今日、キャリア教育の重要性が強く求められており、小学校 1 年から職業観・勤労観を育てる必要がある。そのように捉えると実社会で職場体験ができる「わくワーク体験事業」はキャリア教育の中で重要な位置を占めている。予算については平成 21 年度より市単独で実施してい

るが、今後も継続していく必要がある。

#### □ ひまわり号による補導指導巡回

3 小中学校(河井小学校・鳳至小学校・輪島中学校)と輪島高等学校とで夏休み期間中に実施している。学校の教員とPTA役員とが合同で1日2回(昼と夜)市内を巡回し、児童生徒の非行防止と健全育成を図った。

#### □ 社会科学習の充実のために「わたしたちのわじま」の発行

小学3年の「町についての学習」や4年の「公共施設」についての教科書の内容は全国的なものであり身近な教材ではない。このことから、地元輪島市について学習できるよう副読本「わたしたちのわじま」を作成し、地元についての児童の知識向上を図った。

#### □ 特色ある学校づくり支援事業

地域や児童生徒の実態に応じた特色ある学校づくりが求められている。また、校長の経営ビジョンに応じた学校づくりを支援する必要がある。

#### □ 輪島市小学生合唱大会の開催

市内の5年生が一堂に会し練習した成果を発表し合う体験は、音楽の感受性を育むよい機会となっている。また、児童にとっては、大会参加を通じて中学校教育へのつながりともなる。

### 3 体育・食育の充実を推進し健やかな体の育成

○体力の向上・心身の健康・食に関する指導を家庭と連携しながら計画的・継続的に行う。

①発達段階に応じた健康観の確立と体力づくりを推進する。

- ・1校1プランの充実
- ・輪島市小学生陸上競技大会の実施
- ・スポーツ専門員による授業・部活への活用

②正しい食生活や食習慣を目指す食育を推進する。

- ・栄養職員の献立作成の研修会を実施する。

#### 平成27年度の主な取組

##### ◆輪島市小学生陸上競技大会費(100千円)

・平成24年度より、小学生の体力の維持向上を図るとともに、競技を通して全力を尽くして運動する機会をつくるという目的で開始した。

##### ◆学校給食調理等業務委託費(73,503千円)

・平成24年度より学校給食調理等業務を民間へ委託している。

#### 評価

#### □ 輪島市小学生陸上競技大会

市内の6年生が一堂に会して競い合うことで、運動能力の伸長を感じ取ることができる。運営人員の確保という点で課題はあるものの、今後も継続が必要な事業である。

#### □ 学校給食調理等業務委託

民間委託による効率化、コスト削減、労務管理の軽減、民間のノウハウを生かしたリスク管理とサービス向上を図ることを目的として、平成24年度から4年間調理業務等を民間委託している。民間委託となったことにより衛生管理が更に徹底されるなど、食の安全面での向上につながった。

## 4 児童生徒の安全対策の推進

○児童生徒の安全安心な環境づくりを目指し、安全教育の推進と学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たせるように支援をする。

- ①危険予測能力と危険回避能力の育成を意図した安全教育の充実に努める。
- ②学校安全ボランティア団体の取組を充実し、児童生徒の安全体制づくりを推進する。
- ③緊急メール配信システムを活用した児童生徒の安全対策を推進する。
- ④従来の避難訓練に加えて、津波を想定した避難訓練を実施し、防災教育の充実に努める。
- ⑤ヘルメット着用を含めた自転車利用の安全対策を推進する。

#### 平成27年度の主な取組

##### ◆児童生徒の安全対策の推進(事業費なし)

・学校安全ボランティア等の協力要請や緊急メール配信システムの活用のほか、各学校の実状に応じ、地震、津波、土砂崩れなどの自然災害のほか、原子力災害など、各種の想定による避難訓練等を実施した。

#### 評価

##### □ 児童生徒の安全対策の推進

今後とも児童生徒が安全かつ安心して過ごせる環境を維持するため、児童生徒に対しての安全対策が必要であることから、これまで同様、校長会や教頭会を通じての安全指導、定期的な避難訓練の実施と併せて、学校安全ボランティア等への協力要請も継続して行わなければならない。

## 5 開かれた学校と地域に信頼される学校づくり

○家庭や地域に対して積極的に情報を提供するとともに、学校評価を経営改善に生かすことで教育水準の向上と信頼される学校づくりに努める。

- ①学校公開や学校関係者評価委員会などを通じて、保護者や地域の方々の学校教育への参画と理解を求め、開かれた学校づくりを進める。
- ②学校評価の実施と評価結果を公開し学校運営に反映する。
- ③教育活動の充実のために地域の人材を積極的に活用する。
- ④HPや各種学校便りに加えて、携帯メールでの情報の連絡に努める。
- ⑤ウォーミングアップ登校日の実施
- ⑥ケーブルテレビを有効活用する。
- ⑦輪島市学校力&親力向上セミナーを開催し、オール輪島の教育を推進する。

⑧学校教育課主要施策シートを有効に活用する。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆輪島市学校力&親力向上セミナー開催費(107 千円)

・学校、家庭、地域が一体となったオール輪島の教育を目指しセミナーを開催した。

### 評価

#### □ 輪島市学校力&親力向上セミナー開催

本セミナーは、「すべての大人はすべての子どもの教師たれ」をテーマとして、平成 22 年度から毎年開催している。地域全体で輪島の子どもを育てるため、学校、保護者のほか、地域の方々にも本市の学校教育の現状を把握してもらい、問題意識の共有化を図り、課題を明確にして、オール輪島の教育を目指すことを目的としている。今後更に回を重ねて、趣旨の徹底を図っていききたい。

## 6 教職員研修の充実

○教職員としての自覚を持ち、専門職としての資質・能力の向上を図る。

- ①教職員の資質・能力の向上やミドルリーダーの養成を図るために、ライフステージに応じた研修を進める。
- ②人事評価制度を活用した人材育成と学校の活性化を推進する。
- ③教員の意識改革と授業力の向上のために、学校教育研究会及び校内授業研究会の充実を図る。
- ④各校において、各種情報機器と情報モラルについての研修に努める。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆小学校教育研究費(378 千円)

各種教育問題を研修テーマに研究会を開催し教職員の資質の向上を図った。

・教科部会、専門部会、講演会等の開催 378 千円

#### ◆中学校教育研究費(270 千円)

各種教育問題を研修テーマに研究会を開催し教職員の資質の向上を図った。

・教科部会、専門部会、講演会等の開催 270 千円

#### ◆学校教育研究推進事業費(300 千円)

小学校 2 校、中学校 1 校を指定して研究発表を行った。

鵜巣小学校、門前西小学校、輪島中学校 各 100 千円

#### ◆教育相談事業費(事業費なし)

不登校についての理解を深めるために市内小中学校教職員を対象として、専門家を招聘して研修会を開催した。

## 評価

### □ 小中学校教育研究

教師の授業力向上のために、年間 9 回の教科等部会を開催して、同一教科や同学年間での情報交換や研鑽を行っている。また、年度末には教師研究発表会で成果の発表も行っている。

### □ 学校教育研究推進事業

平成 23 年度までは研究発表のサイクルが長かったため、平成 24 年度から発表校を小学校 2 校及び中学校 1 校とし、該当校を 1 校増加することで、発表サイクルを短くした。これにより、学校研究の意欲向上や授業力向上につなげることができた。

なお、今後 10 年間で、熟練教師の大量退職が見込まれることから、中間層以下の教師力向上も喫緊の課題であり、本事業は継続して行く必要がある。

### □ 教育相談事業

学校生活に適応できない児童生徒にどのように関わっていくかについて教職員を対象として研修会を行っている。

## 生涯学習課主要施策

### 1 市民のニーズに対応する生涯学習の推進

①市民の多様なニーズに応えた学習機会の提供に努める。

- ・環境問題などの地域の現代的課題に対応した学級・講座の開催
- ・家庭教育講演会、家庭教育支援講座の実施など家庭教育への支援
- ・在住外国人に対し、地域住民との交流や日本語教室へのサポートなど多文化共生推進活動の支援

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆地域づくりリーダー養成事業費(後述)

#### 評価

##### □ 地域づくりリーダー養成事業(後述)

②青少年の健全育成に努める。

- ・子ども長期自然体験村、公民館体験合宿事業など青少年体験活動の推進
- ・学校、家庭、地域及び関係機関と連携した育成活動の推進
- ・少年の主張「輪島大会」や講演会等の開催による青少年自己啓発機会の促進

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆子ども長期自然体験村事業費(4,124 千円)

- ・地元児童生徒と県内及び首都圏児童生徒の異年齢・異地域交流  
開催期間 7月28日(火)～8月9日(日) 12泊13日  
参加者 市内：4人、石川県内：12人、首都圏他：21人 計37人

##### ◆公民館体験合宿事業費(886 千円)

- ・小学生等を対象とした公民館等での宿泊体験及び地域交流  
開催数：16回、参加者数：203人、指導・協力地域者数：532人

##### ◆家庭教育推進事業費(556 千円)

- ・わじまっこ★おてつだいきっぷ  
冬休み中に「おてつだいきっぷ」を発行。家の手伝いを考え、取り組む。  
対象：保育所及び幼稚園の年長並びに小学校児童
- ・「親子の約束」標語コンクール  
夏休み中の「親子の約束」を子どもが取り組み、親が評価し標語にする。

| 対象  | 人数(人) | 応募数(点) | 応募率(%) | 備考  |
|-----|-------|--------|--------|-----|
| 小学生 | 988   | 877    | 88.8   | 10校 |
| 中学生 | 605   | 429    | 70.9   | 3校  |
| 計   | 1,593 | 1,306  | 82.0   | 13校 |



#### ◆青少年健全育成活動推進事業費(653千円)

- ・少年の主張「輪島大会」の開催  
中学生の論理的に考える力、主張を伝え理解してもらう力及び社会参加意識の向上を図るとともに、多くの大人に中学生の考えや意識について理解と認識を深める。  
開催日：8月30日(日)、発表者：市内中学生15人
- ・青少年健全育成団体活動助成  
子ども育成会連絡協議会及びボーイスカウト輪島第1団へ助成

#### 評価

##### □ 子ども長期自然体験村事業

異年齢、異地域の子どもたちがコミュニケーションをとりながら約2週間共に生活し、豊かな自然に触れ合い様々な体験活動を通して、子どもたち自身も自己の成長を実感し、豊かな心を育み成長することができたのは大きな成果である。

参加者募集については、ホームページ等で広く周知を図ったほか、友好都市・友好交流都市(石狩市・横浜市鶴見区)から、行政機関の連携による募集に伴い20人の参加を得た。

平成26年度からは、それぞれの地区における特色あるメニューを取り入れ体験できるように、曾々木地区、門前地区に地域部会を設置し、地域住民主導でのメニューづくり、協力体制づくりに取り組んでいる。

##### □ 公民館体験合宿事業

市内公民館ごとに地域の子どもたちが親元を離れての異年齢集団生活をし、地域との交流を通して自立の心や協調・助け合いの心を育むとともに、地域文化への造詣を深め、コミュニティ意識を醸成し、生活習慣を見直すことができた。平成27年度は18公民館すべてで通学型の実施となった。

さらには、地域住民の運営への参加を通して、地域の子どもたちを地域で育む機運を高め、家庭教育を補完する地域教育力の向上が図られている。

##### □ 家庭教育推進事業

「輪島っこ育ちの五か条・学びの五か条」を踏まえ、すべての親が安心して家庭教育ができるよう、家庭教育の推進が図られた。

①わじまっこ★おてっだいきっぷ・・・育ちの五か条第2条〈勤労体験の重要性〉

②「親子の約束」標語コンクール・・・学びの五か条第5条〈家庭の会話は心の成長〉

なお、事業に対する理解を深めてもらうために、平成26年度から作品集を作成し、全児童生徒に配付している。

##### □ 青少年健全育成活動推進事業

少年の主張「輪島大会」や青少年活動助成を通して、健全育成を図るとともに地域の青少年理解の促進を図った。

少年の主張「輪島大会」は、中学生全員の参加と、より多くの市民の方々に聴いていただけるように、平成24年度から文化会館大ホールでの日曜日開催としたほか、ケーブルテレビ、広報わじま、新聞折込みでの広報及び各種団体への周知を行っている。しかし、市民参加が少ない状況であるため、開催時期変更の検討も念頭に置きながら参加者の増加を図る。

③読書の普及と振興に努める。

- ・図書館施設の充実や図書館相互の連携による利用者へのサービス強化
- ・子ども読書活動の拡充と支援
- ・シニアコーナー等における大活字本の充実及び高齢者等図書宅配サービスによる読書機会の提供
- ・読書週間や記念講演会、図書館まつりの開催など、より一層の読書の普及と振興
- ・輪島市立図書館町野分館の図書サービスの充実
- ・友好都市との図書館交流の推進
- ・図書館の休館日の変更、開館時間の延長など運営体制の見直し
- ・図書館ボランティアの活動支援と有効活用
- ・学校図書館との交流・連携

**平成 27 年度の主な取組**

**◆貸出文庫事業費(1,425 千円)**

- ・地域の施設を利用した、身近な読書環境の充実・整備を図る。

配本サービス

市立図書館 団体数：31 団体、配本回数：324 回、貸出冊数：18,370 冊

門前図書館 団体数：16 団体、配本回数：126 回、貸出冊数：9,807 冊

- ・大活字本、大型紙芝居、大型絵本の購入
- ・高齢者等図書宅配サービスの実施 利用者：24 人、貸出冊数：119 冊

**◆輪島市立図書館一般経費(7,987 千円)・門前図書館管理運営費(10,927 千円)**

- ・図書館間の連携

市立図書館：門前図書館からの借受冊数：192 冊、他館からの借受冊数：569 冊

レファレンス（調べものお手伝い）件数：1,200 件

門前図書館：市立図書館からの借受冊数：361 冊、他館からの借受冊数：252 冊

レファレンス（調べものお手伝い）件数：303 件

- ・行事や広報活動の充実

市立図書館(行事名：参加人数)

読書会(10 回)：99 人、文学歴史散歩：13 人、本を読む仲間のつどい：40 人

こどもの読書週間記念のまりんの紙芝居劇場：31 人

手づくり絵本教室(2 回)：18 人、わじまの歴史たんけん：6 人、夏休みおはなし会：13 人、図書館まつり(読書週間記念講演会：47 人、くまっこ隊のおはなし会：55 人)

親子読書講座(2 回)：170 人、文学講座：30 人

門前図書館(行事名：参加人数)

手づくり絵本教室(2 回)：28 人、古典を楽しむ会：59 人、保育所親子読書(2 回)：109 人、小学校親子読書(2 校)：60 人、かがくあそび：25 人、読書週間記念講演会：45 人

ボランティア講習会：11 人、図書館の本活用講座(5 回)：75 人

- ・子ども読書活動支援

市立図書館

おはなし会(第1・3 土曜日) 実施回数：21 回、参加人数：235 人

よちよちさんのおはなし会 実施回数：11 回、参加人数：189 人

ファーストブックおはなし会 実施回数：11 回、参加人数：180 人

保育所等図書館招待(9 か所) 参加人数：282 人

|   |                    |
|---|--------------------|
| 小学校新1年生図書館招待(5校)  | 参加人数：136人          |
| 門前図書館   |                    |
| おはなし会(第2・4日曜日)  | 実施回数：18回、参加人数：212人 |
| 0.1.2 おはなし会   | 実施回数：12回、参加人数：111人 |
| 保育所等図書館招待(2か所)  | 参加人数：57人           |
| 小学校新1年生図書館招待(1校)  | 参加人数：12人           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリスト「本の森へようこそ！」の配布<br/>市内保育所・幼稚園、小中学校、高等学校のすべての子どもたち3,536人に配布</li> <li>・姉妹都市・友好都市との図書館交流の推進<br/>8月11日～同月30日 資料交換展示(萩市立萩図書館)<br/>2月2日～同月28日 俳句交換展示(石狩市民図書館)</li> </ul> |                    |

## 評価

### □ 貸出文庫事業

市内の各公共施設へ配本することができ、市民の身近な読書環境の充実・整備に努めた。高齢者等図書宅配サービスのほか、高齢者福祉施設への配本を増やし、市立図書館では、「シニアコーナー」の高齢者などが読む大活字本の充実を図った。

### □ 図書館管理運営

- ・図書館間の連携  
市立図書館と門前図書館及び町野分館での資料の受渡し等の連携を円滑に行い、市民の幅広いニーズに応えるサービスを行うことができた。  
市内の図書館に所蔵のない資料について、利用者からのリクエストに対し、ほぼ遅滞なく他館から借受けするか、購入するかで対応することができた。
- ・行事や広報活動の充実  
図書館で行った各種行事は図書館のPRになり、利用拡大につながった。  
市立図書館では、「第6回図書館まつり」を開催した(11月8日)。読書週間記念講演会、おはなし会、本のリサイクル市、手づくりコーナー、としょかんクイズラリーを催し、多くの方が来館し、貸出人数・貸出冊数ともに非常に多かった。
- ・子ども読書活動支援  
おはなし会等、図書館行事の市内各関係機関への周知(ポスター・ちらしの配布、取材依頼等)を徹底させ、多くの子どもたちの参加を得た。  
市立図書館及び門前図書館では、図書館招待(保育所等図書館招待・小学校新1年生図書館招待)を催し、たくさん子どもたちを図書館に招待し、利用案内、おはなし会や本の貸出しを行い、以後の図書館利用に結びついている。
- ・ブックリストの配布  
図書館、各保育所・学校等において、紹介した本の展示・貸出しが行われるなど、リストが活用され、子どもたちの読書活動推進に結びついた。
- ・友好都市との図書館交流の推進  
お互い地域に関わる本や俳句などの交換展示を行い、図書等の情報や文化の相互交流を図ることができた。  
連続テレビ小説バトンタッチ展として、『マッサン』の舞台となった北海道余市町の「余市町図書館」と地域資料及び観光パンフレットの相互展示を実施し、関係地域の知識を得ることができた。

## 2 地域の教育力を活用した生涯学習の推進

- ①地域の人材を活用した公民館活動を推進する。
- ②地域リーダーの養成及び活動の支援を図る。
  - ・退職教員等地域住民の教育支援ボランティア参画の促進
  - ・地域間交流機会の充実による相互の学び合いの促進
- ③学校、家庭、地域が相互に連携協力し、オール輪島で未来を担う子どもたちを見守り育てる社会環境づくりを推進する。
  - ・放課後子ども教室等公民館を拠点とした体験活動・学習活動の充実
  - ・学校支援ボランティア活動等の推進による地域ぐるみの教育支援活動の充実
  - ・家庭教育支援講座による保護者の学習機会の充実
  - ・校区を越えた教育支援ボランティア等の連携・交流機会の充実

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆地域づくりリーダー養成事業費(5,656千円)

- ・市内 18 公民館を拠点に、地域のニーズに応じた多種多様な学級・講座の開設  
各種学級・講座の実施(18 地区公民館)  
開催数：1,871 回、延べ参加者数：23,325 人

### 評価

#### □ 地域づくりリーダー養成事業

18 地区公民館ごとに地域のニーズに応じて開催された様々な学級・講座・行事は、地域の人材を活用することで、地域リーダーの育成につながるとともに、学校や家庭とも連携しオール輪島で子どもたちを育む社会環境づくりの一助ともなり、地域に活力を与えた。

## 3 地域に活力を与える生涯学習の推進

- ①地域住民が主体的に参画するコミュニティ活動を推進する。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆コミュニティ活動推進助成費(2,200千円)

- ・地域コミュニティが実施する地域コミュニティ活動事業に対し助成  
(対象事業：事業費 5 万円以上、補助率：40%以内、補助限度額：30 万円)  
対象事業数：25 回、参加者数：10,615 人

#### ◆コミュニティ活動推進事業費(1,055千円)

- ・各地区公民館で実施する地域コミュニティ活動事業に対し助成  
(対象事業：事業費 5 万円以上、補助率：40%以内、補助限度額：30 万円)  
対象事業数：21 回、参加者数：1,055 人

#### ◆健民運動花のまちづくり事業費(2,050千円)

- ・18 地区公民館及び管内公共施設等への花苗の配布

## 評価

### □ コミュニティ活動推進助成

地域住民が主体となった地域交流行事を促進し、住民のコミュニティ意識の形成と地域コミュニティ活動の活性化に寄与している。

参加人数の減少が各地区の課題であるものの、工夫を凝らし行われた事業もあり、運営に対して助言・指導に努めた。

### □ コミュニティ活動推進事業

各地区公民館が主体となり、各種イベントを地域住民とともに実施することを通じて、地域住民のコミュニティ意識の形成を図るとともに、地域で暮らす生きがいや喜びを感じてもらおう一助としている。

参加人数が少ない状況にあることから、参加しやすい環境づくりや内容に工夫を凝らす必要がある。

### □ 健民運動花のまちづくり事業

公民館連合会へ委託し、18 地区公民館及び管内公共施設等で花のまちづくりを推進し、心豊かな生活環境づくりに寄与している。

輪島地区及び門前地区における事業内容の均衡化のため、平成 26 年度から各館への補助金額基準を統一化した。

②郷土に誇りを持ち郷土愛(学)を育む学習を推進する。

- ・地域に密着した講座の開催や地域検定の実施
- ・地域を再発見し地域間交流を促進する市政学習バス事業の実施

## 平成 27 年度の主な取組

### ◆地域づくりリーダー養成事業費(前述)

## 評価

### □ 地域づくりリーダー養成事業(前述)

③男女共同参画社会の形成の推進に努める。

- ・男女平等意識の啓発
- ・女性の社会参加の促進
- ・「輪島市男女共同参画行動計画」に沿った事業の推進

## 平成 27 年度の主な取組

### ◆男女共同参画社会づくり推進事業費(506 千円)

- ・行動計画の実施

男女共同参画講演会を開催：講師 常光利恵氏 12月1日(火) 参加者約 60 人

啓発活動：輪島市民まつりパレードに参加、公民館宿泊体験合宿における出前講座  
男女共同参画パネルの展示  
DV 防止啓発：街頭での啓発活動、高校文化祭(輪島・門前)でデートDV 防止啓発活動

## 評価

### □ 男女共同参画社会づくり推進事業

男女共同参画社会の実現に向けて作成した、輪島市男女共同参画行動計画「こころ豊かに暮らせるまち」で掲げた評価指標に基づき事業を展開し、輪島市民まつりパレード等で啓発活動を行うことで、市民の意識高揚を図った。

また、「男女共同参画推進員」や「わじま女性きらめきメンバー」を置き、行動計画の具体的な推進に努めている。

## 4 スポーツを通じた活力ある人と地域の創造

- ①スポーツを楽しむ機会の充実に努める。
- ・子どものスポーツの推進
  - ・総合型地域スポーツクラブの活動支援
  - ・スポーツ指導者の育成及び資質の向上
  - ・スポーツ関係団体との連携強化
  - ・学校体育への積極的な関わりによるスポーツへの親しみと関心の向上
  - ・地域おこし協力隊の活用によるトランポリン運動の普及

## 平成 27 年度の主な取組

### ◆市スポーツ少年団運営費補助(90 千円)

- ・輪島市スポーツ少年団本部(加盟 12 団体)の運営への補助

### ◆生涯スポーツ推進事業費(3,785 千円)

- ・こどもドリームスポーツ号バス借上げ(391 千円)
- ・総合型スポーツクラブ支援  
NPO 法人町野スポーツクラブ(1,000 千円)  
南志見スポーツクラブ(600 千円)  
NPO 法人もんぜんスポーツクラブ(1,100 千円)
- ・ジュニアスポーツ教室等(694 千円)

### ◆スポーツ推進委員活動費(836 千円)

- ・スポーツ推進委員 20 人による、ニュースポーツ等の普及  
(会議出席報酬 215 千円 指導謝金 165 千円 旅費 282 千円 その他 174 千円)

### ◆市体育協会運営費補助(550 千円)

- ・輪島市体育協会(加盟 25 団体)の運営への補助

◆**学校体育・部活動への支援(119 千円)**

・スポーツ推進室所属のスポーツ技能を有する職員等による学校体育授業及び学校部活動への支援(用具等 119 千円)

◆**地域おこし協力隊事業費(6,872 千円)**

・地域おこし協力隊 2 人によるトランポリン競技の普及を通じた、市内児童生徒の運動能力の向上(人件費・旅費等 6,208 千円 用具等購入 664 千円)

**評価**

□ **市スポーツ少年団運営費補助**

12 団体が加盟する輪島市スポーツ少年団本部の活動を支援し、少年スポーツの推進を図った。

スポーツ少年団への支援はこの他に、県内外の少年団を招待し交流大会を開催する経費について補助を行った(野球、バスケットボール、バレーボール、サッカー 計 1,000 千円)。

□ **生涯スポーツ推進事業**

子どもドリームスポーツ号と称し、野球、サッカー、バドミントン、バレーボール、バスケットボールのプロ等の試合を観戦することにより、スポーツの素晴らしさを伝え、モチベーションの向上を図った(延べ 5 回 115 人参加 ※入場料は個人負担)。

また、ジュニアスポーツ教室の開催や、プロトランポリンプレイヤーによるトランポリンショーの開催など、ジュニア層に対しスポーツへの関心を高めた。

総合型地域スポーツクラブ 3 団体の活動を支援し、地域における多種目多世代のスポーツ活動の交流の促進を図った。

□ **スポーツ推進委員活動**

スポーツ推進委員による、ニュースポーツ及びレクリエーションの体験を地域や公民館で実施することにより、体を動かすことの喜びや楽しさを伝え、日常生活に運動を取り入れることを推進した。

□ **市体育協会運営費補助**

25 競技団体が加盟する輪島市体育協会の活動を支援し、本市の競技スポーツの振興を図った。

体育協会へはこの他に、奥能登体育大会参加助成(752 千円)及び県民体育大会参加助成(2,335 千円)を行った。

□ **学校体育・部活動への支援**

スポーツ推進室所属のスポーツ技能を有する職員 2 人及び地域おこし協力隊 2 人により、小中学校の学校体育授業へのサポート及び学校部活動への指導を行い、児童生徒のスポーツへの親しみと運動技術の向上を図った(学校体育 延べ 59 回 学校部活動 延べ 363 回)。

□ **地域おこし協力隊事業**

地域おこし協力隊 2 人により、トランポリン教室及び体験会を開催し、幼児から大人までがトランポリンに親しめる機会の拡大と指導の充実を行い、トランポリン競技の普及と競技人口の拡大を図った(教室・体験会開催回数 延べ 134 回)。

- ②スポーツ環境の向上に努める。
- ・公共スポーツ施設の効率的な利用促進
  - ・既存施設の適切な管理運営の徹底

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆体育施設管理費(140,009 千円)

- |            |                   |       |           |
|------------|-------------------|-------|-----------|
| ・輪島地区体育施設  | ミズノスポーツサービス株式会社   | 指定管理料 | 99,360 千円 |
| ・町野地区体育施設  | NPO 法人町野スポーツクラブ   | 指定管理料 | 11,532 千円 |
| ・門前地区体育施設  | NPO 法人もんぜんスポーツクラブ | 指定管理料 | 23,332 千円 |
| ・その他体育施設管理 |                   |       | 5,785 千円  |

#### ◆体育施設整備費(2,333 千円)

- ・トランポリン用ソフトマット 16 枚 2,333 千円

#### ◆一本松総合運動公園市民温水プール大規模改修事業費(147,990 千円)

- ・市民温水プールの天井等の大規模改修

#### ◆体育施設改修事業費(30,000 千円)

- ・旧輪島実業高等学校格技場を輪島武道館に改修

### 評価

#### □ 体育施設管理

主要な体育施設については、輪島、町野及び門前の3地区に指定管理者制度を導入し、管理を行った。平成27年度の利用者数は240,284人で、前年度の234,409人を5,875人上回った(前年比2.51%増)。

平成27年度は市民温水プールの改修で2か月利用できなかったにもかかわらず、利用者が増加しており、指定管理制度導入の効果が大きい。

#### □ 体育施設整備

トランポリン用ソフトマット16枚を購入し、サン・アリーナに配備した。  
普段のトランポリン教室から各種大会まで幅広く利用できた。

#### □ 一本松総合運動公園市民温水プール大規模改修事業

市民温水プールの天井、プール本体及び更衣室などの大規模改修を行い、安全の確保と快適な利用を図ることができた。

#### □ 体育施設改修事業

未使用施設であった旧輪島実業高等学校格技場を県から無償で借り受け、輪島武道館に改修を行い、武道団体の練習場所を提供することができた。

- ③スポーツによるまちづくりを推進する。
- ・スポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致推進
  - ・友好都市とのスポーツ交流の推進



- ・オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致活動による市民のスポーツ気運の醸成
- ・オリンピックなど世界大会を目指すアスリートへの支援

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆全日本競歩輪島大会費(9,000 千円)

- ・第 54 回全日本競歩輪島大会及び第 99 回日本陸上競技選手権大会 50km 競歩並びに第 6 回スピードウォーク大会の主催

#### ◆日本スポーツマスターズ 2015 石川大会費(460 千円)

- ・日本スポーツマスターズ 2015 大会女子ソフトボール競技を誘致開催

#### ◆西日本トランポリン競技選手権大会支援事業費(1,500 千円)

- ・第 43 回西日本トランポリン選手権を誘致開催

#### ◆北信越高等学校体育大会助成費(700 千円)

- ・平成 27 年度北信越高等学校体育大会ソフトボール競技(男女)を誘致開催

#### ◆石川県寿野球秋季大会助成費(150 千円)

- ・平成 27 年度寿野球ガンバロー元気能登大会を誘致開催

#### ◆峨山道トレイルランニング大会助成費(2,000 千円)

- ・第 1 回峨山道トレイルランを羽咋市と共催で開催

#### ◆高洲山健康ウォーク助成費(800 千円)

- ・第 23 回漆の里高洲山健康ウォークを主催

#### ◆石狩市・輪島市友好都市青少年スポーツ交流事業費(500 千円)

- ・平成 27 年度石狩市・輪島市友好都市青少年スポーツ交流事業としてサッカー少年団の交流を輪島市で開催

#### ◆オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動費(127 千円)

- ・2020 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ候補地として、組織委員会に登録(リーフレットの印刷等 127 千円)

#### ◆スポーツ活動支援事業費(1,000 千円)

- ・輪島市出身のスケルトン競技オリンピック強化指定選手(小口貴子)の活動支援

### 評価

#### □ 全日本競歩輪島大会

第 54 回全日本競歩輪島大会及び第 99 回日本陸上競技選手権大会 50km 競歩並びに第 6 回スピードウォーク大会を 2 日間開催し、競歩の聖地として定着化を図ることにより、市民と一体と

なったスポーツ大会の開催を行った。

(参加者数 全日本競歩 296 人 50km 競歩 24 人 スピードウォーク 183 人)

□ **日本スポーツマスターズ 2015 石川大会**

日本スポーツマスターズ 2015 大会女子ソフトボール競技を 3 日間開催し、31 チーム 511 人(韓国 1 チーム 19 人を含む。)の参加を得た。

□ **西日本トランポリン競技選手権大会支援事業**

第 43 回西日本トランポリン選手権を 2 日間開催し、67 団体 479 人の参加を得た。

□ **北信越高等学校体育大会助成**

平成 27 年度北信越高等学校体育大会ソフトボール競技(男女)を 2 日間開催し、25 チーム 500 人の参加を得た。

□ **石川県寿野球秋季大会助成**

平成 27 年度寿野球ガンバロー元気能登大会を 2 日間開催し、26 チーム 390 人の参加を得た。

□ **高洲山健康ウォーク助成**

第 23 回漆の里高洲山健康ウォークを開催し、178 人の参加を得た。

マンネリ化による参加者減及び急坂のコースが万人向けではないため、平成 28 年度より事業を改変し、市民ウォーキングとして開催予定

□ **峨山道トレイルランニング大会助成**

交流人口の拡大を目的に、第 1 回峨山道トレイルランを門前町～羽咋市間で開催し、357 人の参加を得た。

□ **石狩市・輪島市友好都市青少年スポーツ交流事業**

石狩市サッカー少年団 22 人と輪島市サッカー少年団 20 人による交流試合等で両市の青少年の交流を図った。

□ **オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動**

2020 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ候補地として、トランポリン競技を誘致することとし、2020 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会のガイドに登録申請を行うほか、オリジナルリーフレットを作成し、トランポリンの世界選手権で配布 PR を図った。

□ **スポーツ活動支援事業**

輪島市出身のスケルトン競技オリンピック強化指定選手である、小口貴子(長野市在住)の練習や国際大会への遠征などの経費について助成を行い、郷土出身オリンピアンが誕生するよう、市を挙げて支援した。

## 5 生涯学習環境の整備と充実

- ①社会教育関係団体の育成と支援を図る。
  - ・市内の各種社会教育関係団体の育成と支援
  - ・奥能登社会教育振興会との連携
- ②職員の資質向上のため関係機関と連携し研修を強化する。
  - ・公民館職員への実務研修の実施
  - ・金沢大学地域連携推進センターなど関係機関と連携した研修及び講演会の開催
  - ・社会教育主事の適正な人員確保
- ③公民館の在り方についての専門委員会を設置して具体的な検討を進める。
- ④生涯学習振興法に基づく計画の策定を検討

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆社会教育総務費一般経費(2,078 千円)

- ・社会教育委員 9 人
- ・奥能登社会教育振興会負担金

### 評価

#### □ 社会教育一般

奥能登社会教育振興会と連携し、公民館職員に対する研修事業を 5 回開催し、公民館職員の資質向上を図った。また、公民館運営審議会を 4 回開催し、公民館における各種事業の企画実施について調査審議し、各公民館事業の適正実施の確認を行った。

## 文化課主要施策

### 1 文化振興

○地域文化芸術の振興を図る。

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆文化振興事業費(9,624 千円)

- ・自主事業の開催運営
  - ①中川翔子の音返し巡業 in 輪島(7月12日(日):611人)
  - ②宝くじ文化公演「倭-YAMATO「爆音綺譚」(12月6日(日):1,149人)
- ・石川県芸術鑑賞推進事業による児童生徒への芸術鑑賞機会の提供
  - ①オーケストラ鑑賞教室「オーケストラ・アンサンブル金沢」(6月8日(月):門前中学校全学年生徒及び保護者 114人)
  - ②古典芸能鑑賞教室「越後獅子」 邦楽と日本舞踊公演(7月6日(月):河原田小学校全学年児童及び保護者 60人)

#### 評価

##### □ 文化振興事業

自主事業として芸術公演を鑑賞する機会を提供し、市民の方々の日々の生活に潤いを与えるとともに文化芸術に対する関心を高めた。

今後においても文化芸術の振興を図るため、有意義な催し物の開催に努めていきたい。

### 2 文化財の適切な保存・整備と活用

○本市のかけがえのない文化財の保護・保存・整備に努め、市民意識向上のための活用を図る。

- ①文化財等の調査・保存と活用の推進を図る。
  - ・文化財などの指定・保護の推進
  - ・既指定文化財の保存修理の充実
  - ・名勝・史跡等の整備・活用の推進
  - ・重要文化的景観(大沢・上大沢の間垣集落景観)の保存・活用の推進
  - ・埋蔵文化財発掘・調査等のための人員の確保
- ②黒島地区重要伝統的建造物群保存地区の保存対策と活用の推進を図る。
  - ・保存地区の歴史的風致を維持・保全するため、修理・修景事業の推進
  - ・伝統的建造物の公開・活用の推進
  - ・地域の財産として愛着や誇りをもって継承できるような取組の推進
- ③文化財保存伝承基盤の整備・拡充に努める。
  - ・文化財保護・愛護活動への支援及び普及啓発
  - ・文化財の保存を図るための修理・修復事業への支援
  - ・各地域に伝わる無形文化財の後継者の育成及び支援

#### 平成 27 年度の主な取組

##### ◆街なみ環境整備事業費(黒島地区)(21,310 千円)

- ・重要伝統的建造物群保存地区として、黒島地区の道路美装化、建造物空屋活用補助を行った。  
主なもの
  - ・道路美装化工事(20,010 千円):舗装工 L=297m

・黒島地区生活環境拠点施設改修工事(1,000千円)：N=1件

◆**伝統的建造物群保存地区保存対策事業費(13,913千円)**

・重要伝統的建造物群保存地区として、黒島地区内の住居及び土蔵の修理事業を行った(対象世帯数：2世帯(2件))。

◆**有形文化財保存事業費(15,894千円)**

- ・市指定有形文化財「旧酒井家」下屋の木羽葺き修繕を行った。
- ・市指定有形文化財である總持寺祖院「慈雲閣」の半解体修理の助成を行った。
- ・市指定有形民俗文化財「中島屋の大切籠」の解体修理の助成を行った。

◆**文化的景観保存調査事業費(6,125千円)**

・重要文化的景観の選定を受けた大沢・上大沢地区について、普及啓発事業として、間垣の保存技術の伝承や材料となるニガタケの育成及びパンフレットの作成等を行った。

**評価**

□ **街なみ環境整備事業(黒島地区)**

街なみ環境整備事業では、道路美装化を行い、伝建地区内のインフラを整備することで、地区の価値を高め、地区住民の住環境の向上を図った。

□ **伝統的建造物群保存地区保存対策事業**

周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いもの及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため計画的に修理・修景事業を行った。この事業を継続的に推進することにより、伝建地区の保存を図った。

□ **有形文化財保存事業**

市指定有形文化財「旧酒井家」・總持寺祖院「慈雲閣」、市指定有形民俗文化財「中島屋の大切籠」のそれぞれの修繕等を行い、市指定文化財として保存することができた。

□ **文化的景観保存調査事業**

大沢・上大沢地区において地元と協議し保存計画を策定した上で、文部科学大臣に対し重要文化的景観の選定申出を行った結果、平成27年10月7日に重要文化的景観に選定された。

### 3 特色ある地域文化の継承と振興

○地域に伝承する貴重な伝統文化を継承し、更なる振興を図るよう諸施策を推進する。

①伝承講座の開催等を通じ、その保存・継承・活用策を推進する。

・次代を担う児童生徒への伝統芸能伝承教室の開催

②民俗文化財や伝統行事等の保存・伝承を図る。

・三夜踊りの振興や開催への支援

・輪島まだら、能登麦屋節、門前とどろの保存・伝承活動の支援

・無形文化遺産「あえのこと」の保存・継承

・「アマメハギ」の無形文化遺産登録実現の推進

## 4 伝統的な文化芸術の継承と創造活動の推進

○本市は文化芸術の盛んな地域であり、その継承と市民のニーズに対応した鑑賞や活動機会の確保等に努める。

①重要無形文化財である「輪島塗」の後継者育成と、高い文化性や芸術性を更に向上するよう努め、併せて無形文化遺産登録実現の推進を図る。

・「輪島塗」の輪島塗技術保存会を通じた技術の伝承

②石川県輪島漆芸美術館を核とし、後世に残す漆芸美術品の発掘、収蔵及び展示に努める。

③輪島市美術展や市民文化祭の開催等を通じ、文化芸術の鑑賞機会の提供や創造活動の推進に努める。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆輪島市美術展事業費(1,200千円)

・芸術鑑賞の推進と美術文化の普及のため輪島市美術展を開催

①6月4日(木)から同月8日(月)まで5日間開催

②出品点数 176点

③入場者数 1,120人

#### ◆三夜踊り開催事業費補助(2,300千円)

・市指定無形民俗文化財「三夜踊」の運営費を三夜踊り振興連絡会に補助

①8月14日(金)から同月16日(日)まで3日間開催

②入込数 約5,200人

三夜踊り振興連絡会：商工会議所、観光協会、文化協会、区長会、三夜踊り保存会、市、市教育委員会、公民館などで構成

《参考》

三夜踊り保存会：会員数70人

#### ◆文化協会事業費補助(1,000千円)

・輪島市文化協会の運営費や市民文化祭「あいの風」開催費補助

①市民文化祭 10月26日(月)から11月8日(日)まで開催

②入場者数 3,290人

文化協会：会員数1,230人(85団体+個人会員3人)

#### ◆漆芸美術館運営委託等費(92,265千円)

・公益財団法人輪島漆芸美術館を指定管理者として指定し、石川県輪島漆芸美術館の展示事業及び管理運営業務を行わせた。

①企画展示 9回

②その他催し物 50回

③入館者数 36,425人(対前年度比：8,200人増、約29.1%増)

④その他利用者数 6,965人(太陽光発電LED展示事業4,208人、小中学校対象おでかけ美術館・出前授業567人等)

#### ◆漆芸美術館施設管理費(1,952千円)

・北陸新幹線金沢開業やNHK連続テレビ小説「まれ」効果による好影響を持続させ、更なる美術館への誘客を図るため、平成26年度に引き続き案内看板の修繕工事を行った。また、館内においては、排煙窓作動装置が故障したため、一部修繕を行い入館者の安全対策を施した。

#### ◆輪島塗技術伝承者養成事業費補助(2,400千円)

・重要無形文化財「輪島塗」については、従事者の高齢化が進むとともに、後継者が減少の一途をたどり、高度な技術の集積をもって完成する輪島塗の伝承が途絶える可能性が生じてきた。このため、平成6年度より、若手技術者を対象に製作研修等の指導・助言を行い、重要無形文化財「輪島塗」の保存伝承に努める「輪島塗技術保存会」に補助している。

輪島塗技術保存会：会員数40人

伝承者数(研修時間)：11人[椀木地1人(151h)、髹漆1人(841.5h)、呂色2人(532h) 蒔絵5人(1,154h)、沈金2人(438.5h)計3,117h]

### 評価

#### □ 輪島市美術展事業

市民の文化芸術意識の高揚のほか、若手工芸作家の登竜門としてその責を担ってきた。現在、漆器業界が不況にある中、若い才能を鼓舞する意味でも美術展の担う役割は大きい。

なお、平成28年度に第50回記念特別展を開催するに当たり、初めての試みとして、平成27年度にFMラジオを利用し、市外の方々からの出品を募った。

#### □ 三夜踊り開催事業費補助

市指定無形民俗文化財「三夜踊」の保存・振興を図るため、「三夜踊り」を主催する三夜踊り振興連絡会に対し、開催経費を補助している。

平成27年度は、三日間とも好天に恵まれ、「児童等による三夜踊り」、「連踊りコンテスト」及び「枕唄コンテスト」などを通して、約5,200人の観衆が三角州に集うこととなった。

伝統芸能支援教室や三夜踊り保存会主催の講習会を開催しているが、踊り手の参加が少ないのが現状である。

今後、様々なイベント等の合同開催や文化財としての踊り(曲)を保存しつつ、新たな踊り(曲)を加えるなど、多くの方の参加を促す方法を主催者に検討させたい。

#### □ 文化協会事業費補助

市文化協会では、文化芸術の創造と振興を図るため、市民文化祭「あいの風」の開催や団体・個人会員の日々の活動を支援している。

平成27年度は、合併10周年記念で会章を制定した。

引き続き、姉妹盟約を結んでいる富山県八尾町文化協会との交流を深め、地域文化の振興・発展に取り組んでいる活動に支援したい。

#### □ 漆芸美術館運営委託等

石川県輪島漆芸美術館は、世界で唯一の漆芸専門の美術館であり、漆芸品等の展示及び調査研究に関する事業を行い、漆文化の普及振興を図ることなどにより地域経済の発展に寄与する施設である。分かりやすい解説や、従来の美術館の枠を超えたエンターテインメント性を加味するなど入館者数の増加に向けた取組を強化した結果、平成27年度の入館者数は対前年比29.1%増となり、平成23年度から5年連続の増加となった。

#### □ 漆芸美術館施設管理

幹線道路脇案内看板の改修や排煙装置の修理を行う等の整備を行った。

美術館は平成3年の開館から24年が経過し、空調関係など設備関係の老朽化や収蔵庫が不足していることのほか、外国人客に対応する表記がなされていない部分もあるため、今後とも計画的に整備・改修していく必要がある。

## □ 輪島塗技術伝承者養成事業費補助

重要無形文化財保持団体の輪島塗技術保存会が行っている事業であり、輪島塗技術の保存伝承に努めている。対象となる工程の職人が減少し続けており、今後も漆器業界関係者との連携を図りながら、一定技術を保持する若手職人に対し、技術の伝承を確実に行っていきたい。

## 5 文化施設の整備と充実

- 「輪島市文化会館」及び「石川県輪島漆芸美術館」をはじめ、「輪島市天領黒島角海家」、「輪島市もんぜん文化村」、「輪島市櫛比の庄禅の里交流館」、「輪島市能登平家の郷松尾家」は本市の文化振興の核施設であり、その積極的な利用の推進を図り、併せて利用者が安全で快適に利用できるよう適正な維持管理に努める。
- ①「輪島市文化会館」は、能登最大規模のホールを有しており、文化芸術活動の拠点として利用の推進を図る。また、施設及び設備は、開館より30年以上が経過していることから老朽化が進み、全体的な改修が必要となっているが、要する経費の大きさから耐震化も含めた市全体の中での公共施設における改修計画への位置付けが望まれる。
  - ②「石川県輪島漆芸美術館」は、企画展示や巡回展示をはじめとし、漆芸指導や教養講座等を充実し、利用の推進を図る。
  - ③「輪島市天領黒島角海家」は、重要伝統的建造物群保存地区の核施設として、地域文化の振興と誘客推進を図る。
  - ④「輪島市もんぜん文化村」は、「児童生徒きりえ作品展」の開催等を通じてきりえ文化の拡大を図る。
  - ⑤「輪島市櫛比の庄禅の里交流館」は、「旧酒井家」と併せた活用の推進を図る。
  - ⑥「輪島市能登平家の郷松尾家」の活用の推進を図る。
  - ⑦文化施設の維持管理等については安全点検に努め、老朽化等に伴う改修については計画的に進める。

### 平成 27 年度の主な取組

#### ◆文化会館管理運営費(38,474千円)

・文化会館の建物及び設備の充実を図り、会館の利用者の増加を図る。

①文化会館(大ホール、練習室等を含む。)

利用件数 716件(対前年度比: 142件増、約25%増)

利用人数 47,371人(対前年度比: 6,505人増、約16%増)

②農民研修センター

利用件数 382件(対前年度比: 18件増、約5%増)

利用人数 18,819人(対前年度比: 3,332人増、約22%増)

③工事修繕件数 36件

主なもの

|                |                     |
|----------------|---------------------|
| 駐車場区画線設置工事     | 367千円               |
| 地下1階雑排水ポンプ更新工事 | 594千円               |
| 屋上防水シート仮設修繕    | 648千円(強風によるシート破損)   |
| 展示室壁紙貼替修繕      | 497千円               |
| 消火栓修繕          | 335千円(経年ホース交換)      |
| 観覧席張替修繕        | 324千円(座席シート布交換)     |
| 自動ドアエンジン交換修繕   | 297千円(図書館側自動ドア開閉不良) |
| 冷却塔本体漏水緊急修繕    | 178千円               |
| 正面ゲート入口発行機修繕   | 167千円(ゲート動作基盤不良)    |



## ◆文化施設管理運営費

### ・天領黒島角海家管理運営費(7,368千円)

入館者数 8,119人(対前年度比:3,692人増、約83.4%増)

### ・もんぜん文化村管理運営費(10,954千円)

①企画展示 5回

②きりえ教室 12回

③草木染教室 5回

④陶芸教室 40回

⑤竹籠体験教室 2回

施設利用者数 5,278人(対前年度比:993人減、約15.8%減)

### ・櫛比の庄禪の里交流館管理運営費(7,138千円)

①企画展示 2回

②入館者数 4,591人(対前年度比:1,720人減、約27.3%減)

### ・能登平家の郷松尾家管理運営費(2,552千円)(開設期間 4月から11月まで)

①延べ宿泊日数 33日(対前年度比:3日減、約8.3%減)

②延べ宿泊者数 170人(対前年度比:100人減、約37.0%減)

③延べ休憩利用件数 3回(対前年度比:2回増、約200.0%増)

④延べ休憩利用者数 56人(対前年度比:31人増、約124.0%増)

## 評価

### □ 文化会館管理運営

・輪島市文化会館については、平成26年度実施の耐震診断の結果、耐震性の問題(事務所棟=耐震性なし、ホール棟=耐震性あり)に加え、空調機器ほか設備関係の老朽化が見られた。

一方、輪島市役所についても耐震性等に問題があるため、学識経験者などを構成員とした執行機関の附属機関を設置し、耐震化及び整備について検討する予定としている。

こうしたことから、本庁舎のほか、文化会館も加え、総合的に耐震化及び整備について検討していきたい。

### □ 文化施設管理運営

・天領黒島角海家(平成23年8月開館)については、この施設を重要伝統的建造物群保存地区の核施設として、インターネットを通じた情報発信や旅行会社などにPRを行った結果、入館者数が増加した。この施設が平成28年7月25日に重要文化財に指定されたことを契機に、更なる入館者の増加に努めたい。

・もんぜん文化村については、芝生広場のグラウンドゴルフ利用が多く、セミナーハウス棟、ギャラリー棟の利用は比較的少ない。

施設は建築から25年以上経過し、機械設備等の塩害や老朽化が進んでいるが、災害発生時の避難所でもあることから、安心して利用できる整備に努めた。

・櫛比の庄禪の里交流館については、平成25年度より禪の里交流館周辺で開催されるイベントに協賛し、当館の無料開放を行った。このほか、總持寺周辺地区との連携の強化を図るとともに、リピーター確保に向け観光客等への認知度向上に努めた。

・能登平家の郷松尾家(平成23年度から供用)については、古民家の一軒家を大人数で貸切利用できる施設の長所をインターネットやガイドブックなどでPRし、利用率向上に努めた。